

提出 順番	No. 9	令和 5 年 6 月 5 日 午前・午後 3 時 11 分受領
----------	----------	------------------------------------

令和 5 年 6 月 5 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 岡本 眞利子 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>1 LINEを活用した道路・公園等通報システムについて</p>	<p>近年、高度経済成長期に整備された社会資本の多くが、一斉に更新時期を迎えることから施設の老朽化対策が社会問題化しており、全国の自治体ではインフラ老朽化対策に苦慮しています。</p> <p>道路に穴が空いている、公園の遊具が壊れているなど住民からの不良箇所の通報は町にとって非常に重要な情報です。人によって何処に連絡してよいのかわからない、日中仕事で連絡する時間が取れない、不良箇所の場所や破損の説明がうまく伝えられないなどの理由から通報することを躊躇される方もいるようです。</p> <p>このような課題解決のために窓口へ直接来訪や電話での通報のほかに、スマートフォンやパソコンから通報していただけるシステムを運用している自治体も増えています。</p> <p>本町でも住民にとって利便性の高い行政サービスの提供が必要と考え以下について伺います。</p> <p>(1) 町道の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 直近のポットホールが発生件数と修繕箇所数 ② 雪解け時期と平常時のパトロール頻度の差 ③ 歩道の点検、修繕の目安 ④ 年間、住民からの通報件数 <p>(2) 公園等の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 定期点検の頻度 ② 遊具の危険箇所の通報件数

<p>2 帯状疱疹ワクチン接種への助成について</p>	<p>(3) LINEを活用した道路・公園等通報システム導入についての町の考えは。</p> <p>「SDGs目標3」における日本の優先課題は健康寿命を延ばすこととされています。誰もが健康で長生きしたいと考えているはずです。</p> <p>そこで今、高齢者の間で話題になっているのが帯状疱疹のことです。</p> <p>多くの方が子どもの時に感染する水疱瘡のウイルスが原因で起こり、体内に潜伏していて過労やストレスなどで免疫が低下すると、ウイルスが再び活性化して発症します。</p> <p>症状としては、体の左右どちらかの神経に沿って痛みを伴う赤い斑点と水ぶくれが多数集まって帯状に生じ、皮膚症状に先行して痛みが生じ夜も眠れないくらいの激しい痛みが出ることもあるようです。50歳代から発症率が高くなり80歳までに約3人に1人が発症するといわれています。</p> <p>特に高齢者では発症するリスクが高く、帯状疱疹後神経痛 (PHN) になる可能性があるといわれています。このような症状を防ぐためにも帯状疱疹の予防が重要であります。</p> <p>帯状疱疹ワクチンは2種類あり、「生ワクチン」は日本では厚生労働省により2016年3月に50歳以上の方に対する帯状疱疹の予防として適用が拡大されましたが、新たに2020年に使用開始となった不活化ワクチン「シングリックス」は生ワクチンに比べると予防効果が高く、効果が長時間維持でき、がんや膠原病で免疫が低下している人でも接種できる利点があります。</p> <p>ちなみに帯状疱疹ワクチンの接種は自己負担をする任意接種で生ワクチンは1回約8,000円ですが、不活化ワクチンは1回約23,000円で、これを2カ月後に2回目の接種の必要があります。接種費用が大変高額なため、良いとわかっていても受けられないというのが現状であります。この現状を考えますと町として支援が必要ではないでしょうか。</p> <p>本町としてどのように認識しているのか見解を伺います。</p>
-----------------------------	---

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。